

児童心理治療施設

さくらの森学園 だより

平成30年4月

Vol.14

発行：さくらの森学園

平成30年度のスタートです！

今年の冬は本当に寒くて、さくらの開花は遅いのではと思っていたところ、全国に先駆け開花し、あっという間に満開に。高知県が開花も満開も全国一の早さでした。

さくらの開花に合わせて、2名の中学3年生が第一志望の高校に合格。

さくらの花の満開の頃に、2名の高校3年生が進学、就職にと、それぞれが希望と夢に胸を膨らませて巣立っていきました。

みんな、これからが正念場。自分の思いを言葉にして伝えることが苦手な子ども達です。新しい環境にうまく馴染めるのか？ 困った時にSOSを周りに出せるのか？心配は尽きません。そっと見守るだけでなく、出来る限りの支援を続けていきたいと思えます。

今春、さくらの森学園では新しく4名の職員を迎え、佐川小・中学校分教室では教頭先生と2名の教職員が異動で赴任されました。

子ども達が「ここに来て良かった」と思ってもらえるように、分教室の先生方と職員一同が心を合わせて30年度も変わらずより一層、子ども達を支援していきたいと思えます。

施設長 中村 久美

ボランティアさん紹介

男の子達は髪が伸びると、佐川町内にあるヒロタ理容さんへ行かせてもらっています。ヒロタ理容さんはボランティアで髪を切って下さっており、いつも笑顔で子どもたちを迎えてくれます。子どもたちは散髪台に座ると、広田さんから「今日はどうする？」と聞かれ、前髪や横、襟足など細かく注文を言いながら、広田さんとの会話を楽しんで散髪をしてもらっています。仕上げに毛剃りをするとき、こそばくて喜び子もいれば、怖くて泣きそうになる子もいる中、広田さんは優しく気長に「大丈夫やきね。もう終わるよ。」と声を掛けながら関わって下さっています。何度も散髪をして頂いているので、今では子どもたちも安心してお任せしています。いつも大勢でお店に行くため広田さんにはご迷惑をおかけしていますが、今後も何卒よろしくお願い致します。



佐川小・中学校分教室 卒業式

平成 29 年度卒業証書授与式が 3 月 15 日におこなわれ、小学生 1 名、中学生 2 名、計 3 名が分教室より旅立ちました。この場をお借りして、分教室に関わっていただいた各関係機関の方々や保護者の皆様に厚くお礼を申し上げます。



初めの歌は、卒業生が決めた、川嶋あいの「旅立ちの日に」でした。

「♪ 桜舞う 4 月の教室で 波打つ胸をはずませながら出会った永遠（とわ）の仲間達」

卒業生のソロから歌いだし、徐々に声が重なり合って、みんなが思いをこめて歌い上げます。

「♪ いつのまにか時は流れ もう今日は卒業の日 人はいつか旅立つ者だけどいつの日にかまたどこかで会える気がするからね 輝く日々を忘れないで今始まる 希望の道 今日までありがとうね 思い出の校舎と別れを告げ 今新たな扉開き はるかな年月経てつぼみから花咲かせよう」

この日に向けて、自分たちから歌の練習を提案し、小学校、中学校それぞれが朝の会、昼休みなどに練習した歌でした。最後の曲は、同じ題名の合唱曲「旅立ちの日に」で、全員の美しいハーモニーがホールに響いていました。

下級生が心をこめて考えた送辞、そして小学生、中学生の答辞。今年の中学生の答辞は、ふたりで言いたいと、ふたりで言うことを決め考えました。——ここに来てからがんばった、いろいろな思い出、お世話になった方々への感謝、これからの決意——をそれぞれが立派な態度で言うことができました。

式での在校生のしっかりとした送辞や態度、また雰囲気も厳かで、余韻の残る式となりました。

分教室より



華棟

今年の 3 月は華棟から初めて 2 人の高校生が、卒業とともにそれぞれの新しい場所へ巣立っていきました。

進路を決めることは、これからのそれぞれの人生にとって大きな決断となりました。その大事な決断の時期に関わることができたのは、私たち職員にとって、また、これから華棟で高校卒業を迎える子どもたちへの支援を、より豊かにするための大きな学びとなりました。2 人には感謝の気持ちでいっぱいです。体に気をつけて、頑張ってもらいたいです。

今年度最後の行事は、みんなで昼食を食べにココスへ行きました。汽車に乗っていく道中では、窓から梅の花が咲いているのが見え、子どもたちも「きれいだね！」と喜んでいました。

ココスでは、それぞれ食べたいものを自分で選び、飲み放題もつけて、お腹いっぱい好きなものを食べて飲んで、おしゃべりしながらゆっくり楽しい時間を過ごしました。

新学年に向けてのパワーをたくさんためてきました！

樹棟

樹棟は、3月は誕生日ラッシュです。なんと、6人中3人が誕生日。子どもたちは、1ヵ月に3回もケーキが食べられると大はしゃぎ。

誕生日の児童が、人数分のケーキとお菓子を職員と一緒に買いに行きます。買い物の前には、ひとりひとりに「ケーキ何が食べたい？」と

リサーチしたり「俺、モンブランがいいき、買ってきて」とお願いしている子ども達の様子が見られます。



夕食後から誕生日会はスタート。ケーキにロウソクを灯し、happy birthday to you〜♪と歌い、誕生日プレゼントを渡し、皆で乾杯をします。その次は、花束贈呈！このお花は町内のポピーフローリストさんがプレゼントしてくださったもので、施設開設時から子ども達全員のお誕生日当日に届けて下さっています。ありがたいですね。

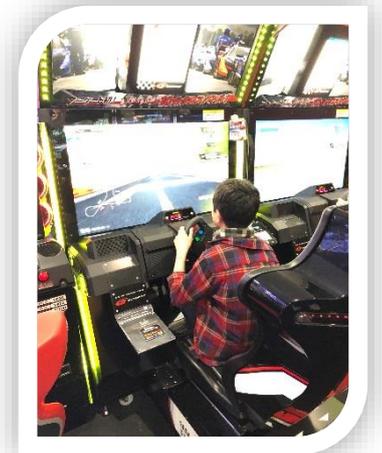
その後、皆の前でお誕生日の子どもは〇才の目標を言います。ロウソクをふーっと吹き消すのが初めてという子どもが中にはいて、ピースケーキではなくホールケーキにロウソクを立てて誕生日会をしてあげたい！と思うのですが・・・ホールケーキにすると、こだわりが強い子どもが多く、カットした大きさや、ケーキの好き嫌いでもめたりするため、実現困難なのです。ああ悩ましい・・・



杜棟

3月…、卒業の季節を迎え、杜棟の子ども達も新たなスタートに向かって一廻りも二廻りも成長したように感じています。

3月21日杜棟最後の外出は、子ども達の希望を聞いて、お昼はマクドナルド、その後はラウンドワンのゲームセンターでゲームに興じ、最後はフジグランでお買い物！…と、盛り沢山で楽しんで来ました。



残念ながら今回高校生は参加できませんでしたが、小・中学生にとっては、春休みのいい思い出作りになったことでしょう。遊びに夢中で、切り替えがうまくできない子どもは、出発前に外出を渋っていましたが、いざ現地に到着すると、皆との昼食や買い物も本当に楽しそうで、見ている職員の方まで幸せな気持ちになりました。



高校生になると、自立のためのアルバイトや部活等で忙しくなり、全員で一緒に出かける機会が少なくなります。皆揃って外出できなくて残念でしたが、参加出来なかった高校生のためにと、皆でお土産を購入するなど、自分の事だけでなく、他者を思いやる優しい気持ちが育ってくれたことに、子供たちの成長を感じて職員も嬉しい一日となりました。

ご支援ありがとうございました

阿部孝典 上田昌義 奥田麻子 果樹園さかもと 木原恵美子 菊池佳代子 大島明子 小泉産業(株)
(株)ユアティ・萩野昭子 白石慈恵 鈴木俊 住友カラリ (株)ダスカジャパン クアテモック 栗原佳代子
田中勇 中田武治 浜田博子 ヒロタ理容 ポピーフローリスト 村田恵理子 MOMONORI
和田昌士 美容室ピロ吉花・岡崎由也里 (敬称略順不同) 平成 29 年 12 月～



小泉産業さんからは学習机 5 台いただき、社員さんがわざわざ届けて組み立ててくださいました！

《バザー用品のご提供のお願い》

子ども達の生活に役立つため、10月6日（土）開催の秋祭りにバザーを開催します。
お品物は9月21日までに直接お持ちいただくか、まとまった量がある方は職員が仕事の合間に引き取りにうかがいますので、電話でご連絡ください。

お送りいただける場合は誠に恐縮ですが、送料はご負担いただいております。

《こんな物品を集めています》

贈答品・引き出物・日用品・雑貨・文房具・台所用品・食器・アクセサリ・傘・衣類・靴・バッグ・おもちゃ・赤ちゃん用品・未開封賞味期限内の食品。

全て新品・美品に限らせていただきます。ぬいぐるみ（使用済）はご遠慮下さい。

子ども向きのCD・DVD・本・ボードゲーム・切手・テレホンカード・書損じの葉書・商品券などは施設で使用させていただきます。

「こんなものがあるけれど・・・」と悩んだときはさくらの森学園担当：西森にご連絡を！！

さくらの森学園への寄付金は寄付金控除対象です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

《募集しています》

- 家庭体験事業として週末や長期休みに帰省できない子どもを自宅に招いてくださる方
- 学習・遊び・IT 関係・環境整備のボランティア
- 秋祭り当日、バザーのお手伝い

詳しくはメール・電話でお問い合わせください。（担当：中村）

〒789-1201

高知県高岡郡佐川町甲 1115-3

社会福祉法人 同朋会 児童心理治療施設 さくらの森学園

Tel 0889-22-4333 Fax 0889-22-4332

<http://www.douhoukai.or.jp>

sakuranomori@douhoukai.or.jp